

おきたま米づくり情報 No.1 令和7年産 米づくりスタート号

令和7年3月18日
山形温暖化対応米づくり日本一運動
置賜総合支庁農業技術普及課
西置賜農業技術普及課

気候変動に強い米づくりの第一歩は 土づくりと健苗育成！

近年、毎年のように異常気象が続いております。気候変動に負けず高品位米を安定生産するためには、土づくりと初期生育の確保が重要です。イネが健全に生育できる土壌環境づくりと充実した苗づくりの基本技術を徹底して、スタートダッシュを切りましょう！

○春作業に備えて育苗場所の確認を

地域により融雪が遅れているため、融雪剤や融雪促進効果のある堆肥、資材等の散布や機械による除雪を行い、育苗場所を確保しましょう。

また、積極的な排水に努め、春作業の機械効率を上げましょう。

温暖化に対応した米づくりの重点事項をチェック！

〈土壌環境づくり〉

- 耕深を確保し、健全な根の生育環境づくりを行いましょ！

耕深は15cm以上を確保！

耕深が浅いとイネが根を張れずに、土壌からの養分供給力が低下します。



- 有機物やケイ酸等の土づくり資材を投入しましょ！

異常気象対策に有効な「ケイ酸」資材は、長期的に投入することで効果が出ます！

- 品種、地力に応じた施肥設計を行いましょ！

過剰施肥厳禁！特に昨年、倒伏した圃場やタンパクが高めだった場合については、施肥量の見直しを！一発基肥肥料は「基肥」+「追肥」の合計量を上限に！

つや姫、雪若丸はマニュアルに基づく施肥を行いましょ。



〈充実した苗づくり・適期移植〉

- 充実した苗づくりを行いましょ！播種作業は田植え日に合わせ計画的に！

育苗期間が高温傾向にあり、育苗期間が長すぎると苗が老化し、活着不良や初期生育が遅れる要因に！田植えの計画に合わせて播種日を決めましょ。伸びすぎ、老化苗は×

～作業日程の目安【5月15日に田植えの場合】～

田植え日から逆算し、
計画的に！

苗の種類	播種量 乾籾重 (g/箱)	浸種開始	催芽	播種日	育苗期間	田植え日
稚苗	150～180g	4月12日	4月24日	4月25日	20～25日	5月15日
中苗	80～120g	4月2日	4月14日	4月15日	30～35日	

○種子の予措 ～充実した苗づくりからスタート!～

(1)塩水選（行う場合、水温 10℃以上を確保）

- ・塩水を作る際の比重は、うるち 1.13、もち 1.08
- ※塩水選後は、きれいな水でよく洗う

	比重	水 100 当り 食塩の量(目安)
うるち	1.13	2.1kg
もち	1.08	1.3kg

◎作業の前に比重計や卵などで確認を！

(2)種子消毒（必ず実施を）

- ・薬剤処理の場合は、必ず使用方法（希釈倍数、使用時期、使用方法）を確認する
- ※**薬液の温度が低いと効果が劣る**場合があるため、**必ず 10℃以上の水温を確保**する
- ・温湯浸法の場合は、58℃20 分間又は 60℃15 分間で行います
- 温湯処理が終わったら、すぐに冷水で冷やした後、浸種（水漬け）に移ります
- 発芽率の低下をまねくため、もち品種は温湯浸法を避けます
- ※温湯浸漬処理後直ちに浸種しない場合は、再感染抑制のため脱水後通風乾燥し、籾水分を 15%まで低下させる

(3)浸種（水漬け） ～温度計で随時水温確認を！！～

- ・水温は 10～15℃とし、10～12 日程度行い、**積算水温で 120℃**を確保します。播種の予定日から逆算し、種子消毒と浸種を始めます。必ず温度計を設置し、水温を随時確認しましょう！
- ・2～3 日毎に水交換を行い、袋の位置（特に上下）を入れ替えて吸水ムラを防止しましょう
- ・**浸種開始時の水温が低すぎると、二次休眠に入り催芽の揃いが悪くなる**場合があります。**最初の水温は 10℃以上**（ただし 15℃未満）になるよう調節します。**特に昨年的高温の影響で「種子の休眠が深い」可能性**があります。**種子消毒や最初の浸種温度を「必ず 10℃以上」で実施することと、浸種の積算温度 120℃を必ず確保した上で、催芽作業に移りましょう**

(4)催芽

- ・催芽は 30～32℃で 20 時間が目安。ハト胸状態を確認して終了し、脱水・陰干しを。

○ばか苗病対策 ～育苗床の周りに稲ワラやモミ殻などありませんか～

- ・ばか苗病を保菌している稲ワラやモミ殻、施設や機材に付着した菌などが感染の原因となる場合もあるため、**育苗ハウス内や資材をきれいにし、種子や苗を置く周辺の稲ワラやモミ殻は必ず撤去！**前年ばか苗病が多発した場合は、特に念入りに確認を！
- ・**浸種の水温が 15℃を超えるとばか苗病の発生を助長する**場合があるため、水温に気を付ける。

○適期移植の計画を立てましょう

- ・**移植適期は 5 月 15 日～20 日。遅くとも 5 月 25 日には終わる計画を！**

移植適期内に田植えを行うことで、生育量を確保しやすくなります！

～スマートつや姫（Agrilook）で適期作業～

適期作業カレンダー、穂肥マップ、刈取適期マップを活用！

下記QRを読み取る→ユーザーID、パスワードを入力

<スマホ版>

QRコード



ユーザID：
okitama

パスワード：
okitama123

おきたま米づくり情報を

LINEで発信中！

